

2012年度 幾何入門「授業改善のためのアンケート」結果

担当：境 圭一

「授業改善のためのアンケート」に、39名の方から回答をいただきました。ありがとうございます。結果は以下の通りでした。

1. 全体的に見て、この授業の内容は、授業によって達成しようとしている目標に、ふさわしいものである

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
0	0	2	27	10

2. この授業はシラバスから大幅に逸脱することなく実施されている

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
0	0	3	22	14

3. この授業では、理学部のカリキュラム全体の教育目標に沿った授業内容が提供されている

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
0	0	2	26	11

4. 参考書の提示など、この授業のための時間外学習の情報提供・指示が、シラバスや授業中の説明等とでえられている

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
0	1	5	23	10

5. この授業の達成目標である、探求の仕方・姿勢、知識や技術などを、あなた自身は獲得できると思う

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
0	0	10	17	12

6. この授業では、担当教員の学問的・専門的識見が感じられる

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
0	0	3	19	17

自由記述7~9に書いていただいた意見の一部を挙げておきます。

7. 「この授業について、改善すべきと思うことがありましたら書いてください」では、「 a と u の区別がわからないときがある」「板書が黒板の下のほうだと見づらいことがある」といった指摘をいただきました。これは教官の配慮不足が原因です。改善するよう努力したいと思います。今後も、もし見づらいことがあれば、ぜひご指摘いただければと思います。

また、演習やレポートの解答を作ってほしい、という要望がありました。これはあまり好ましいこととは考えていませんので、なるべく講義の時間中に考え方の指針を与えたり、個別の質問を受け付けたりすることで対応したいと思います。

講義の性格上、「物理的な」説明をすることがあり、それがわかりにくい、という意見もありました。物理的な説明は背景を理解するのに役立つこともあるので行っていますが、これはあくまで数学の講義ですので、基本的には式を追いかければ（原理上は）理解できるようになっていると思います。従って、物理的な説明がわかりにくいとしても気にせず、数学の部分だけを理解していただいても差し支えないと思います。

8. 「この授業について、教員がよい工夫をしていると感じられるものを書いてください」では、図や例を使った解説がわかりやすい、演習・レポート問題が用意されているので復習しやすい、という意見をいただきました。今後も続けたいと思います。

9. 「この授業について「8」で答えたこと以外によいと思うものがありましたら書いてください」では「厳密な定義でないところはそのように明示しているのは良いと思う」という意見をいただきました。

これはもちろんいい面と悪い面があり、本来ならば正しい定義を時間をかけて説明すべきところですので、時々やっているように厳密でない定義を感覚に頼って行うのは教官の怠慢とも言えると思います。一方で、全てのことを厳密にやろうとするとなかなか先に進まず、大きな流れが見えなくなるといった側面もあり、また時間の制約もあるため、この講義では全体の流れがよく見えるようにすることを優先しているわけです。厳密さとスムーズな流れを両立させるのは永遠の課題であり、なるべくそれを実現するよう努力したいとは思いますが、ご指摘の通り、厳密さを欠かざるを得ないところは今後も明示したいと思います。

このほかにも、全体的に好意的な意見を多くいただきました。ありがとうございます。今後も意見・要望などをいただけましたら幸いです。